

国語

I 全体について

清真学園は、受験生にしっかりした文章力を求めています。特に事実を正確に人に伝えられる文、理屈のしっかり通った文が書けるように望んでいます。

記述問題で、技術的な面で減点対象になるのは、次のことです。

①あった方がよい「～が」「～は」が書かれていない。②述語と「～が」「～は」「～を」などの要素が対応していないために、意味が通りにくくなっている。③文末表現が適切でない。（例えば、理由を聞かれているのに文末を「から」とせず、「こと」としたりする。）④漢字をまちがえている。⑤「。」を、打つべき位置に打ってない。とくに、文を切るべきところを、次々につないで書き、文意が分かりにくくなっている。⑦「、」を打つ位置が不適切なため文意が分かりにくくなっている。⑧指定された字数よりひどく少ない字数になっている。⑨「。」やカッコは一字分としているのに、文字の書かれたマスに書き入れてしまう。⑩おしゃべり言葉を使う。例えば、「すごい」「～けど」「～じゃなくて」、「食べれない」「ばれない」など。

以上の不注意なミスは、自分の答案が本当に完璧なものかどうか落ち着いて見直せば、防ぐことができるものも多いのです。

II 個別問題について

【一】

問1 今年度は、漢字が比較的良く書けていました。

問2 基本的な問題であり、高い正答率でした。

問3 ここでの「理由」とは、原因ではなく目的を言うのであり、「乾燥しやすいから。」ではなく、「乾燥を防ぐため。」とまとめることで、問いに対応した答えとなるのです。

問4 見方を変えることによって感じるおもしろさが理解できているかどうかが問われました。

問5 基本的な問題であり、高い正答率でした。

問6 読みの基本のひとつは、読み取った事柄が頭に残っていることです。

問7 字数にあわせて、まとめ方を工夫できたかどうかで、差が出ました。

問8 問6と同じネライです。残念ながら誤答が少なくありませんでした。

【二】

問1 ⑤、問2 ③の正答率がよくありませんでした。

問3 原稿用紙の使い方については、会話文の扱い方の理解が不十分でした。写し間違いも少なくありませんでした。

【三】

問1 漢字の読みは、語彙力、文字を読むことへの慣れなどによって差が出ました。

問2、3、4 余りできていません。

問5、6、8 心情を問う基本問題です。高い正答率でした。

問7 どういう行為に、と聞いているのですから、「……行為。」とまとめてください。なぜか、「……から。」とした受験生が多かったのです。

問9 なぜですか、と聞かれているのに、文末を「……から。」と結ばない答案が少なくありませんでした。

国語

解答用紙 A

受験番号

得点

(24-M)

問1 (一)

④ 関連 ⑤ 調節 ⑥ 機会 ⑦ 溶けこむ

問3

鳥はふつと地表より高く湿気に乏しいところを乾燥から守るため、そのような場所にある卵

問4

ウ 酸素、二酸化炭素、熱、水分

問6

地中や石の下

問7

明らかに巣の中に白く下には卵のにおいも色も卵を産み、巣を離れる時には卵のにおいも色も卵を

問1 (二)

① ス ② イ ③ カ ④ オ ⑤ シ

問2

① ウ ② ア ③ ウ

問3

解答用紙Bに書きなさい。

問1 (三)

⑧ ぶっく ⑨ たれた ⑩ つかいめ ⑪ そっけない

問2

I イ II ア III エ

問3

A イ B ア

問4

ねこの首輪に手紙を押し込むこと。

問5

イ エ

問7

ノラ猫だと思われないように首輪をつけた行

問9

自分にとつて親友を作ってくれた大切なねこ

国語

解答用紙 B

受験番号

得点

(24-M)

少年の日の思い出を読んで

内山 節子

小学校二年生のころに、一人の友人がいた。その友人は、転校してきただけのわがしにいつもよりそっとなことと教えてくれたものだった。そんな友人がある時、ねえ、わたしも転校生だったのよ。と打ち明けてくれたことがあった。友人は、去年の十月に転入してからしばらくの間は友だちがでなくてとても苦労したということだった。